

## 親鴨会 5月メッセージ(時の区切り)

親鴨会の新年度がスタートしました。学校の新学期や国の会計年度も4月からですし、企業の事業年度も4月スタートの会社が過半を占めています。そう考えると、日本の一年の区切りは新年を祝う正月とこの4月を大きな区切りとして生活しているように思います。

IBMに入社してから組織変更、人事異動、目標管理などを通して1月から12月という年度体制で働いてきました。入社当初は年度の区切りの違いに戸惑いつつ、お客様への新年の挨拶コールが異動の報告だったりしたことを思い出します。その延長でアメリカの政府や企業は1月～12月で動いているものと勝手に思い込んでいました。

世界的に見てこうした国家の会計年度はどうなっているのか、ふと疑問に思い調べてみると、イギリスは4月～翌3月、フランス・中国などは1月～12月といったところまではそんなもんかと思いましたが、アメリカ連邦政府の会計年度は10月～翌9月。殆どの州は7月～翌6月で、例外的にニューヨーク州は4月～翌3月、アラバマ・ミシガン州は10月～翌9月などと知って、各州の独立性の強さというか、アメリカという国の成り立ちの一端をみたように思います。

国際問題が揺れ動く中、各国の会計年度がその国の文化や農業といった要素で定められてきた経緯を考えると、国々の歴史を知る新たな視点に気付かされます。